

令和 6 年度 取石南こども園 事業報告書

1. 幼保連携型認定こども園の運営

- (1) 名称 取石南こども園
- (2) 所在地 大阪府高石市取石 4 丁目 12 番 16 号
- (3) 定員 認可定員 1 号認定 15 名 2 号・3 号認定 134 名 計 149 名
利用定員 1 号認定 15 名 2 号・3 号認定 134 名 計 149 名

(4) 令和 6 年度 教育・保育延べ人数

認定区分	年令	延べ人数 (人)	月平均 (人)	利用定員 (人)	利用定員に対する充足率(%)
1 号	4、5 歳児	132	11	10	105
	3 歳児	57	4.75	5	
2 号	4、5 歳児	521	43.4	48	93.6
	3 歳児	288	24	24	
3 号	1、2 歳児	564	47	47	92.2
	0 歳児	122	10.2	15	
合計		1,684	140.4	149	94.2

(5) 職員の職種、員数等

①令和 6 年 4 月 1 日当初

区分	園長	副園長	主幹教諭	保育教諭	看護師	栄養士	事務員	教育・保育補助員	クリーンキーパー	委託医 委託歯科医 委託薬剤師	合計
常勤	1	1	2	22	0	0	1	0	0	0	27
非常勤長時間	0	0	0	5	1	1	1	0	0	0	8
非常勤短時間	0	0	0	2	0	0	0	5	2	5	14
合計	1	1	2	29	1	1	2	5	2	5	49

産休・育休 5 名を含む

②令和 7 年 3 月末現在

区分	園長	副園長	主幹教諭	保育教諭	看護師	栄養士	事務員	教育・保育補助員	クリーンキーパー	委託医 委託歯科医 委託薬剤師	合計
常勤	1	1	2	21	0	0	1	0	0	0	26
非常勤長時間	0	0	0	6	1	1	1	0	0	0	9
非常勤短時間	0	0	0	1	0	0	0	5	1	5	12
合計	1	1	2	28	1	1	2	5	1	5	47

産休・育休 4 名を含む

注：給食調理は業務委託（委託先：柏原マルタマフーズ（株））調理員 4 名で業務を実施

(6) 教育・保育時間

①開園日・時間

月曜日～土曜日（祝日、12 月 29 日～1 月 3 日を除く）

7：00～19：00（延長保育事業の実施）

②教育・保育時間

1 号認定児・・・・・・・・・・ 教育標準時間 8：30～14：30

2 号・3 号認定児・・・・・・・・ 保育標準時間 7：30～18：30

保育短時間 9：00～17：00

2. 教 育・保 育 内 容

(1) 教育・保育方針

1. 子どもの健全な心身の発達を図り、生涯にわたる人格形成の基礎を培う。
2. 快適な教育・保育環境を整え、子どもとの信頼関係を十分に築き、子どもが情操豊かで他を思いやれる心を持てるよう努める。
3. 教職員は、自らの家庭生活・社会生活において全ての子ども達の模範となるよう努める。

(2) 教育・保育の目標

○大きくなったとき両親を大切にする子

○強く、優しく、素直な子

規律ある生活習慣とともに総合的な経験活動を通じて健全な心身の発達を目指します。

1. 健康で明るく伸び伸びとした子に。
2. 自分で考えて行動し、自ら安全な生活ができる子に。
3. 自主・自律・協同性をもって集団生活に適応できる子に。
4. 他人の話はよく聞き、自分の思いははっきりと言える子に。
5. 感性と表現力・創造性を豊かにし、最後までやり遂げる子に。

(3) 日常保育

児童の年齢に応じたデイリープログラムを園長・副園長・主幹保育教諭及び保育教諭が協議して定めた。但し、2号・3号認定児においては、おやつ・午睡等は、必ず含まれるように実践した。尚、1歳児保育については、国最低基準を上回り、5人に1人以上の保育教諭を常時配置した。

(4) 特別教育・保育

A・温水プール指導.....3歳児以上...ウィングススポーツクラブ

概ね週1回実施（6月・9月・10月・11月で計10回）

B・器楽指導.....3歳児以上...(株)M-style...宮地雅彦氏.....概ね月2回実施

C・体育指導.....3歳児以上...志儀竜也（法人体育指導員）...概ね月2回実施

D・英語指導.....4歳児以上...(株)ECCジュニア.....概ね月2～3回実施

(5) 延長保育事業

こども園に通う認定を受けた園児が、やむを得ない理由により通常の利用日及び利用時間帯以外の日及び時間において、保育を必要とする場合に、その園児を受け入れて預かり、保護者が安心して子育てができる環境を整えた。

年間利用延人数 7:00～ 7:30・・・ 463人（対前年比⊖44名）

18:30～19:00・・・ 644人（対前年比⊖38名）

(6) 地域子育て支援自主事業

地域の乳幼児を持つ子育て中の保護者や保育を必要とする親子等にこども園を開放すると共に、親子の遊びの場を提供し、在園児との交流を通して育児上の相談助言を行った。

イ 育児相談・助言	在園児 件数：69 件	(対前年比⊖34 人)
	未就園児(地域の子育て家庭) 件数：23 件	
ロ 園庭開放	年間 29 回実施	参加延べ人数：155 人 (対前年比⊖8 人)
ハ ひまわりサークル	年間 30 回実施	参加延べ人数：462 人 (対前年比⊕35 人)

(7) 小学校との円滑な接続

本園での教育・保育が小学校以降の生活や学習の基礎の育成につながることに配慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うよう努めた。

又、園児の発達や学びの連続性を確保し、小学校教育への円滑な接続に向け、地元小学校の児童との交流や、修了児の就学先小学校教諭との意見交換や情報交換の機会を下記の通り設けた。

2 月 18 日 (火)	取石小学校担当教諭との意見・情報交換	場所：本園会議室
3 月 7 日 (金)	清高小学校担当教諭との意見・情報交換	場所：本園会議室

※その他の高石市内及び近隣市修了児就学先小学校とは、2 月下旬、3 月上旬に電話で意見・情報交換を実施した。

(8) 地域貢献事業

社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するため、地域の援護を必要とする方に対する相談活動を活発化し、関係機関との連携を十分に行う。さらに相談活動を行う中で、援護を必要とする方の心理的不安の軽減を図り、また必要な制度やサービスにつなぐ。

また、生活保護などの既存の制度では対応できない方で、経済的困窮により、医療や介護の必要なサービスの利用が阻害されている方がいる場合、その費用の一部を支援する経済的援助を行う関係機関との連携を図る。

実年間利用者 4 名

【内 容】 夫からの経済的虐待を受け、他市から高石市へ転居 (1 件)
(連携機関) 大阪府社会福祉協議会 大阪しあわせネットワーク 社会貢献基金

【内 容】 要支援家庭の保護者の状況確認の通報 (1 件)
(連携機関) 高石市 家庭児童相談所

【内 容】 支援が必要と思われる家庭の通報(後に母 診断書を提出) (1 件)
(連携機関) 高石市 家庭児童相談所

【内 容】 要保護家庭の園児の怪我の報告 (1 件)
(連携機関) 高石市 家庭児童相談所

(9) 地域活動事業

①世代間交流事業

特別養護老人ホーム・老人保健施設への交流は、各種感染症による感染防止の為、入居者と対面して行う交流は中止し、園児が作った部屋飾りにお手紙を添えて園児の代表のみが訪問し、玄関先でプレゼント等を手渡しした。

月日	9/10	10/12	12/12
内容	敬老の日 園児の手作り プレゼント贈呈	秋祭り だんぢり祭り 見学	クリスマス 園児の手作り プレゼント贈呈
場所	高石特養	土生自治会館	高石特養

②地域における異年齢児交流事業

※新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症防止対策の為、中止した。

3. 苦情解決の取り組み

園の苦情解決の仕組みや、苦情解決責任者・担当者・第三者委員を保護者に書面にて公表・配布すると共に、ご意見箱を常設し、園に対する要望や苦情を自由に投稿できるシステムにしている。又、園長(副園長)と保護者会役員との意見交換会を年3回以上実施(毎年恒例)。園全体に関わる苦情や要望については、個人情報に配慮しつつ、入園式後の挨拶・説明で園長より保護者を対象に説明を行っている。

尚、令和6年度中に保護者から口頭や連絡帳等を通じて寄せられた意見や要望事項は次のとおりであった。

- ・5歳児の課外体育教室に参加している園児の保護者から「子どもが課外体育担当講師の服の中に顔を入れられたと話しているが何故そのような事になったのか話を聞きたい」との話があった。園長と副園長が課外体育担当講師に事実の確認を行った。その結果を当該保護者に副園長と課外体育担当講師より説明。「該当園児が課外体育中にブリッジをしてバランスを崩した際、頭を打って泣きそうになり、他の園児に泣き顔を見られるのが嫌な為、後ろを向いて顔を隠して泣き出した。担当講師が配慮の思いで他の園児から顔を隠すように自分のトレーナーシャツの中に頭を入れ、顔を隠してあげるような行為となった」との説明をし、当該保護者も理解をし了解をした。

4. 職員の資質向上に関する取り組み

質の高い保育を展開するため、絶えず、一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図ることに重点を置き、職員研修に取り組んだ。

特に職員会議では、職員自らの品性と人格陶冶に努めるため、園長の訓育や資料として使用している「ニューモラル」を通じ、職員一人一人の倫理観、人間性並びに幼保連携型認定こども園職員としての職責の理解と自覚の啓発を図った。また園外研修については、集合・対面式とweb・オンライン形式を併用したハイブリッド形式研修が増えてきたので、その研修内容によりより効果的な方を選択し、教職員の学びの機会を絶やさぬよう努め、教育・保育の専門性を高め、保育実践や教育・保育の内容に関する共通理解を図り、協働性を高めた。

園外研修・・・年 35 回 延参加人数 61 人

- ・職員会議……………週 1 回（園内研修含む） ・給食会議……………月 1 回
- ・保健会議……………月 1 回 ・週案会議……………週 1 回
- ・月案会議……………月 1 回

5. 教育・保育設備

敷地面積……………2188.35 m²（実測値）（法人所有地 1615.57 m² 借地 572.78 m²）

こども園舎……………鉄筋コンクリート造り 2 階建て

こども園舎建面積… 786.22 m² 延べ面積………1308.58 m²

屋外遊戯場……………791.90 m²（実測値）

名 称	面積	名 称	面積	名 称	面積
乳児室 0 歳 (ほふく室)	56.90 m ²	ランチルーム	43.50 m ²	沐浴室	17.22 m ²
保育室 1 歳	87.75 m ²	調理室（更衣・便所含む）	40.00 m ²	調乳室	5.32 m ²
保育室 2 歳	56.35 m ²	職員室	51.50 m ²	ホール(1)・玄関・廊下	111.33 m ²
保育室 3 歳	73.15 m ²	会議室	10.17 m ²	ホール(2)	52.50 m ²
保育室 4 歳	72.50 m ²	相談室	20.60 m ²	物入れ・倉庫(1.2 階計)	39.75 m ²
保育室 5 歳	75.00 m ²	保健室	7.00 m ²	便所(1・2 階計)	60.21 m ²
一時保育室	31.35 m ²	図書コーナー	11.55 m ²	廊下階段	97.78 m ²
遊戯室	147.00 m ²	職員更衣室 (男性・女性・シャワー室含む)	21.45 m ²	外部・その他	118.7 m ²
				合 計	1308.58 m ²

6. 運営の経費

通常経費は、主として施設給付金・保育料・補助金収入でまかなう。